

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2026年4月20日
研究終了日	2027年12月31日 まで
研究の名称	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫における完全寛解獲得後のサーベイランスの有用性について
研究対象	2012年1月1日から2025年3月31日までに市立豊中病院でびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の診断となった患者さん
対象材料	診療記録
対象期間	2012年1月1日から2025年3月31日の間
研究の目的意義	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)治療後の外来フォローアップにおいて、CRを獲得した患者に対する定期的な画像検査によるサーベイランスの有用性は依然として議論されています。複数の後向き研究のデータからは、DLBCL患者の大多数において、FDG-PETまたはCTによる定期的サーベイランスの再発検出能は限定的であることが示唆されていますが、DLBCLの再発リスクは一様ではなく、International Prognostic index(IPI)やHigh grade B cell lymphomaとされる群、CD5陽性例などにより層別化されます。当院の患者において、DLBCLにおけるCR獲得後のサーベイランスCTの意義を、リスク層別化も含めた包括的解析により明らかにすることで、サーベイランスCTの効果が特定の患者において異なる可能性を検証することができます。
方法	2012年1月1日から2025年3月31日までに市立豊中病院でDLBCLの診断となった症例について、後方視的に検討します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、個人情報は、電子カルテ内のみで安全に管理しており、個人情報が外部に流出することはありません。研究結果から個人が特定されることもありません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 血液内科 久原 甲 TEL 06-6843-0101